

# 鬼ヶ嶽 横綱大関連破

## 紙相撲新聞

第162回本場所  
初日～三日目

編集・発行  
日本紙相撲協会

### 若ノ嶋、千代鈴、西神門を3タテ

### 綱獲りの大神楽は安定の3連勝

〔第百六十二回本場所初日～三日目〕

ゴールデンウィーク明けの5月11日に第162回本場所の初日が幕を開けた。

今場所は先場所9勝2敗で優勝決定戦に臨み、惜しくも同部屋兄弟子の横綱千代鈴に敗れて連続優勝を逸した関脇西神門が大関に昇進し、157回以来5場所振りに東西の大関が揃う形となった。



↑初日に相性のいい若ノ嶋を破った鬼ヶ嶽は二日目も勢いそのまま一度も勝てなかった千代鈴を真っ向から攻め切って押し倒した。

↓初日が復活のカギと言っていた若ノ嶋。復活するには負けられない鬼ヶ嶽との一番だったが、気持ちだけが空回り。虚しく土俵を割った。



さらに、西神門に続けと次の大関を狙う関脇四季嶋と綱乃花の大関争いも見どころの一つだろう。

先場所は「やはり最後は千代鈴か！」と見事に逆転優勝の千代鈴が横綱としての初めての連覇に挑む。その安定感からほとんど死角が見当たらず、優勝候補の本命。

先場所優勝すれば横綱昇進という場に臨み、千秋楽結びの一番で勝てば優勝というところまで行きながら優勝を逸し横綱昇進が成らなかった大関大神楽。朝日松理事長からは「もう一場所様子を見たい！」との発言があり、まさに今場所が悲願の横綱昇進の正念場となる。



↑三日目、破竹の勢いで大関に駆け上がり、今場所も優勝候補の一角である西神門も、鬼ヶ嶽電光石火の右攻めの前に天を仰いだ。



大神楽○(寄り切り) ●月山



大神楽○(寄り切り) ●鉄甲

一方、2場所途中休場の後、先場所全休した横綱若ノ嶋が進退を賭けて出場するようになった。場所前は精力的に出稽古にも出掛け、まずまずの調整振りという。

ベテラン横綱が復活するのか、それとも現役最後の土俵となるのか注目したい。ちなみに横綱春ノ翔は今場所も休場し、3場所連続の全休となる。

話題豊富な本場所は初日から三日目まで行い、3連勝は大関大神楽、小結鬼ヶ嶽、平幕の夢ノ花、喜乃郷、白閃光、桃乃洲の6人となった。



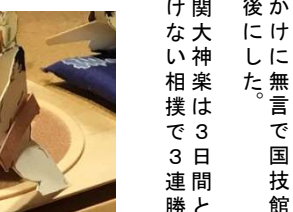
千代鈴○(寄り切り) ●烏帽子



剛勇山●(引き落し) ○千代鈴

悲願の横綱を狙う大関大神楽は3日間ともまったく相手を寄せつけられない相撲で3日間とも相撲は見せている。

横綱若ノ嶋はこれまでに7勝11敗と苦手と戦って今場所を占う大戦に挑み、初日は剛勇山に勝ったものの



若ノ嶋●(寄り切り) ○月山



若ノ嶋○(押し倒し) ●剛勇山

千代鈴に勝った鬼ヶ嶽だが、初日に復活を目指す横綱若ノ嶋にもど輪で勝ち、三日目には、こちらも優勝候補と目される新大関西神門に取り直し後の相撲で立合いからの電光石火のど輪で勝って3連勝。2横綱1大関を撃破し、早くも殊勲賞候補となった。

横綱若ノ嶋はこれまでに7勝11敗と苦手と戦って今場所を占う大戦に挑み、初日は剛勇山に勝ったものの